

## 令和5年度【検討期】

令和5年度入学生（1年生）

実施主体：部活動

指導者：メイン→教職員、部活動指導員  
サブ→地域指導者

## 令和6年度【移行期】

令和5年度入学生（2年生）

実施主体：部活動→地域クラブ活動

指導者：メイン→地域指導者  
サブ→教職員、部活動指導員

## 令和7年度【転換期】

令和5年度入学生（3年生）

実施主体：地域クラブ活動

指導者：地域指導者  
（希望する教職員）R8  
～検証  
改善

- ・生徒たちの混乱が少ない移行を目指すため、当面の間、部活動とクラブ活動が混在するが、種目毎、段階的に転換することが望ましい
- ・移行・転換時期は、年度当初ではなく、7～8月（1学期末～2学期当初）とし、3年→2年への引継ぎの時期が望ましい



中学校

・顧問会 ・プロジェクトチーム  
・部活動運営委員会

連携／支援

・市関係課 ・関係団体  
・市教育委員会（コーディネーター配置）  
・長野市部活動関係者連絡会議

コーディネーターによる支援例

- ・保護者説明会や検討会議等への参加
- ・学校と市関係課や競技団体等との連携支援

## ステップ1

## ①設置部活動の実態把握

・学区内のクラブや指導者の有無

- （例）スポーツ課の提供情報を参考
- （例）顧問、外部指導者、保護者等から情報収集

・学区内の小学生のニーズ

- （例）学区内の小学生の意向調査
- ※学区内に活動場所を確保する必要性を確認

## ②学校としての方針の策定

## ③教職員、生徒、保護者へ方針を説明

- ・在校生、新入生及び保護者への説明
- ※移行期は進捗状況を含め定期的に説明が必要
- ※入学前に事前説明することが重要

## ステップ2

## ④種目毎の関係者による検討会議の実施

学区内に移行できるクラブがある場合

- ①課題の整理と課題解決策の検討
- ②移行推進計画、関係者の役割分担の検討
- ③規約の作成、チーム登録、保険加入等の手続き

学区内に移行できるクラブがない場合

- ①地域クラブ情報（スポーツ課作成）やスポーツ課への相談により、近隣エリアのクラブ情報を収集
- ②近隣クラブを紹介

## 新たなクラブの設立を検討

（※教職員は競技団体等の一員として検討することが前提）

- ①クラブ設立関係者による理念と推進計画の検討
- ②関係者による役割分担、規約の検討
- ③クラブ員募集と保護者説明会の実施
- ④チーム登録、保険加入等の手続き

検討会議の参加者（例）

管理職／部活動係／顧問  
地域指導者／保護者代表／クラブ代表  
コーディネーター／市関係課／外部団体等

## ⑤生徒への説明

## ステップ3

## ⑥準備が整い次第段階的に移行

## ⑦段階的に部活動の発展的解消

例）新入部員の募集停止 等

市教育委員会

- ・コーディネーターや指導主事による訪問支援
- ・円滑な兼職兼業手続き
- ・指導を希望する教職員の把握

市スポーツ課等

- ・受け皿クラブの整備と充実、情報発信
- ・プロチームとの連携強化
- ・クラブ運営基盤支援
- ・学校体育施設の優先開放